

平成17年8月17日

地震による2, 6号機原子炉建屋における 空調ダクトからの水の滴下について

2号機は定格出力にて運転中ですが、平成17年8月16日午後0時35分頃、原子炉建屋4階において、空調ダクトの継ぎ目より水の滴下があることを、地震後の巡視点検中の当直員が確認しました。

床面に滴下した水の量は約12リットル、放射エネルギーは約 1.9×10^4 ベクレルでした。

また、6号機は定格熱出力一定運転中のところ、同日午後0時45分頃、原子炉建屋5階において、2号機と同様に空調ダクトの継ぎ目より水の滴下があることを、地震後の巡視点検中の当直員が確認しました。

床面に滴下した水の量は約11リットル、放射エネルギーは約 1.5×10^4 ベクレルでした。

床面に滴下した水については、いずれも拭き取りにより清掃を実施いたしました。

原因は、同日午前11時46分頃宮城県沖で発生した地震により、原子炉建屋の使用済燃料プールの水面がゆれ、水面近くに設置してある換気口へ流入し、空調ダクトの継ぎ目から滴下したものと判断いたしました。

今後、水抜き配管が設置されている6号機については、地震などにより使用済燃料プールの水が空調ダクトに流入した可能性がある場合には、当該配管の弁を開けて確認するなどの対応について手順書に明記するとともに、当該配管の設置位置についても再検討いたします。

また、水抜き配管が設置されていない2号機については、今後設置することといたします。

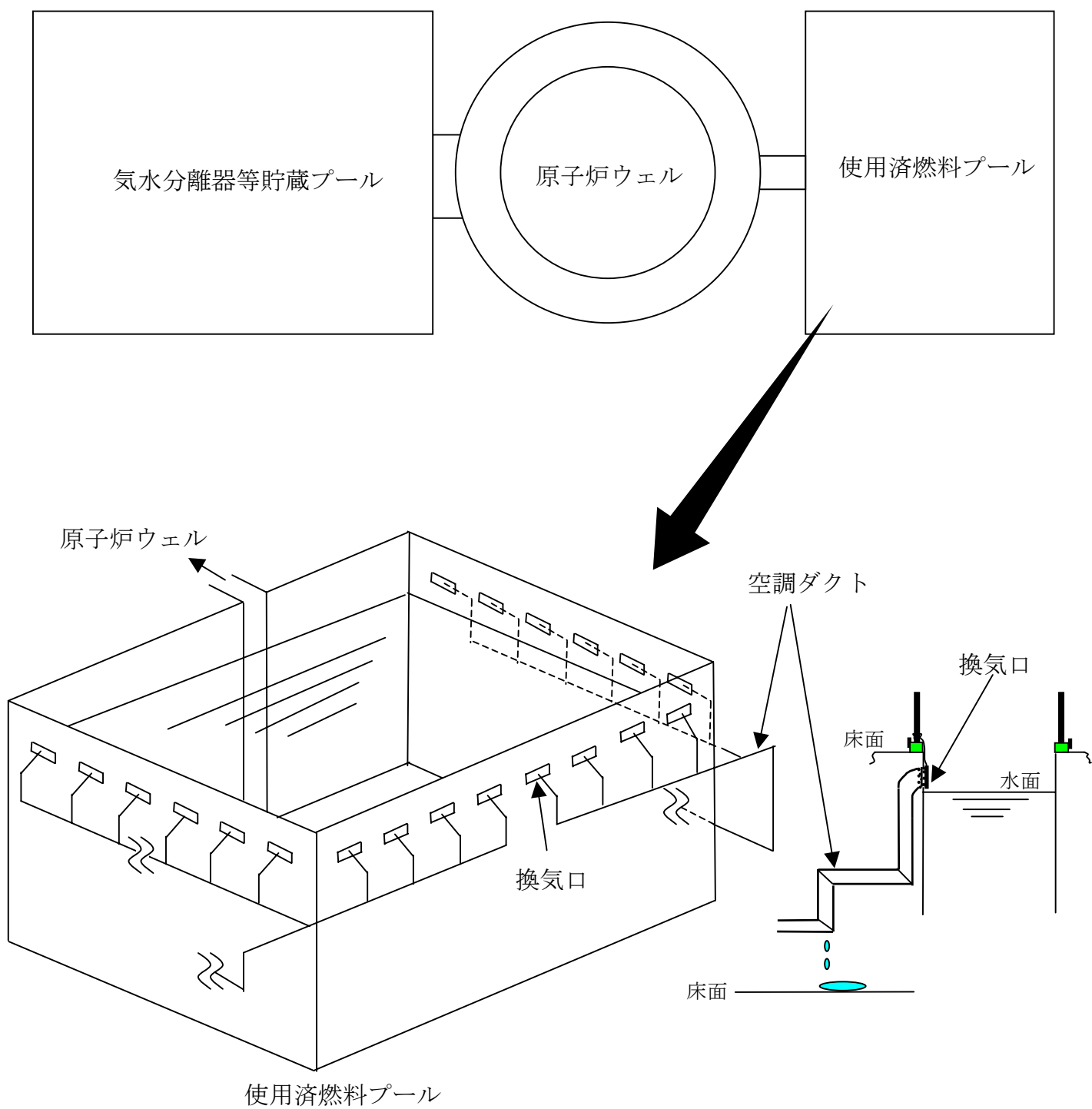
なお、これらの対策について、水平展開を図ることといたします。

これによる外部への放射能の影響はありません。

なお、今回の地震発生に際しても、運転中のプラントは安定して運転を継続しております。

以上

これは「当社原子力発電所における不適合事象の公表方法の見直しについて」（平成15年11月10日お知らせ済み）における区分Ⅲの事象として、前日に発生した不適合事象を公表しているものです。



2号機および6号機原子炉建屋における水漏れの概要図